



川内

申

中央

自主 友愛 好学

薩摩川内市立川内中央中学校

自主 友愛 好学

校長 上栗 博文

「1学期を終えるにあたり」

7月13日（土）に1学期最後の大きな行事である校内合唱コンクールが行われました。本年度は、生徒の体調面に配慮するとともに、取組の成果を思う存分発揮できる環境を整えることをねらいとして、SSプラザを会場として借り上げ実施しました。初めての取組であったため、準備・運営ともに手探りの状態でしたが、結果として各学級のパフォーマンスが光り輝く合唱コンクールとなったことが大きな成果であると思います。一方で、観客席や駐車場が不足したこと、保護者の皆様をはじめ、地域の方々などにもご迷惑をおかけしました。心からお詫び申し上げます。本年度の状況を精査し、来年度は更なる改善を図っていきたいと思います。

ところで、合唱コンクールでの各学級の合唱には大きなエネルギーが詰まっていることを感じました。それは、この日を迎えるまでに、学級全員で精一杯練習に取り組んできた成果が十分に発揮されていたからだと思います。生徒一人一人がお互いを思いやり、同じ目標に向けて取り組んでいく中で、学級の絆はより強く、より高まっていきます。1学期、ともに学校生活を過ごす中で少しずつつくりあげてきた絆を全員が意識できる合唱コンクールは大変意義深い活動です。会場を包み込んだ生徒の熱い思いや感動が2学期からの様々な活動でも更に数多く生まれることを期待しているところです。

さて、1学期を終えるにあたり、保護者や地域の皆様に心から感謝いたします。皆様のおかげで、生徒一人一人の頑張りが光る1学期となりました。今後も、学校・家庭・地域のよりよい連携を基に生徒一人一人が自らの力を発揮し、更に高めていけるよう支援に努めたいと思います。これまで同様、皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向にあります。また、先日は痛ましい水難事故も発生しています。この夏休み期間において、生徒が安全で健康な生活を送ることができるよう皆様のご指導を重ねてお願いいたします。



合唱コンクール 7/13(土)～SSプラザせんだいに美しいハーモニー響く～

今年度の合唱コンクールは、7月の土曜授業の日に SS プラザせんだいで開催しました。各学級での合唱曲決定以降、音楽やふるさとコミュニケーション科の授業、昼休み・放課後の時間を使って、各学級が練習に励んできました。本番を迎えるまでの間、各学級においては様々な試練や困難があつたようですが、それを乗り越えながら、コンクール当日は、どの学級もすばらしいハーモニーを SS プラザせんだいのホールに響かせてくれました。

合唱コンクールへは、音楽のすばらしさを学ぶことはもちろん、級友や先生との絆づくり・学級づくりにつながる取組となりました。保護者席が少なく、学年で参観の入れ替えを行いました。保護者の皆様の御協力ありがとうございました。



「学習者主体の授業」の実現にむけて～市校長研修会中学校会場 7/4(火)～

7月4日（火）に、市小・中・義務教育学校校長研修会が本校で開催されました。中学校長の研修会会場となった本校では、授業参観も行われました。社会科担当の鶴藤教諭が1年生の地理の授業を公開しました。今、学校現場においては「学習者主体の授業」の実現が求められています。教師による講義式の授業ではなく、生徒が主体的に課題の解決に取り組み、対話的な活動を通して、様々な意見や考えに気付いたり、自己の考えを広げたり、深めたりしながら学習を進め、まとめていく授業スタイルです。公開授業では、「世界の国々の人々は、どのような暮らしをしているのだろう」を学習課題に、それぞれのグループに配られたヒントカードや実物資料、画像等を基に、どこの国かを各グループで追究していく形で進められました。生徒は、対話をしながら、様々な情報を基に「国の謎解き」に、意欲的に取り組んでいました。今後も「学習者主体の授業」の実現に向けて研修を深め、生徒の学力向上に取り組んでいきたいと思います。



居場所・絆 づくり

図書司書 徳先生 おすすめの本

『おしごとそだんセンター』(著/ヨシタケシンスケ)

地球に不時着した宇宙人がやってきたのは、風変わりな職業相談所。宇宙人は相談所のスタッフと一緒に、働くことの意味を考え・・・。「仕事」の意味を問い合わせし、明日をちょっと明るくする、ヨシタケ版“ハローワーク”ストーリーになっています。大人が読んでも、子どもが読んでも仕事とは何かを考えさせる内容です。親子で一緒に読むのにとってもふさわしい作品です。ヨシタケシンスケさんの独特なユーモアとやしさがとても印象に残る作品となっています。

『5分後に意外な結末シリーズ』(著/桃戸ハリ他)

『5分後に意外な結末シリーズ』は、株式会社Gakkeneから発行されている児童文学シリーズです。2013年12月にシリーズ第1巻が刊行され、2022年10月現在でシリーズ合わせて既刊30巻発行されています。各話5分程度の時間で読めるオリジナル作品のほか、欧米の小話、都市伝説などを収録した短編集になっています。小説が苦手な生徒にもおすすめの作品になっています。これ以外にも5分程度で読める編集の作品がありますので、まずはこの種類の作品から読み、最終的には長編の作品を読んでみたいと思います。

【生徒にとって図書室とは?】

生徒にとって図書室は、本を読む場所であり、本を通じて友だちと心れ合う場でもあります。一人でも多くの生徒に1冊でも多くの本を読んでもらい、本との出会いが自分の将来に役立つことがあればいいなあと思っています。生徒にとって憩いの場所であり続けるために、本の選書をしっかり行なうと思います。

